

農業振興地域整備計画の見直し

未来そうま
石橋浩人議員



問 農業振興地域整備計画の見直し方針について問う。

答 農地等の面積や用途区分など、計画を見直す方針である。

大震災から6年が経過するが、災害危険区域の指定などにより、住宅地やソーラー発電など新たな土地需要が生じていることから、社会情勢に合った用途の見直しを行う必要があると考える。

震災後の現状を踏まえた農業振興地域整備計画の見直し方針について伺う。

問 農業振興地域整備計画の見直し方針について問う。

答 将来にわたり優良な農地を保全し、農業振興施策を計画的に実施するため、土地利用や農業就業人口及び将来の見直し

について調査を行った上で、農業基盤整備や津波被災後の農地の状況などを検証し、農用地等の面積や用途区分など農業振興地域整備計画を見直す方針である。

問 見直しの具体的な内容について問う。

答 農用地等の面積や土地利用及び農業経営状況のデータ化、農業者や農業関係団体のアンケート及び実態調査を行い、その結果を分析することとしており、農業者には土地利用や農業経営の現状及び方向性についての調査を実施、農業関係団体には、農用地区域のあり

方や保全策、農業生産基盤整備の方向性などについて調査し、出された意見を農業振興地域整備計画の見直しに活かしてま



その他の質問

- ・特産品相互取扱協定
- ・災害市営住宅の家賃減免措置の延長

介護施策

問 骨太公園の活用、介護職員初任者研修の現状を問う。

答 「もりもり骨太教室」の開催、初任者研修はこれまで192名が受講し修了している。

社会の超高齢化に伴い、高齢者が住みなれた地域で暮らしていくためには、元気な高齢者の社会参加が必要となり、介護予防や生活支援の担い手として、活躍することが期待されている。

また、認知症を患う高齢者の増加などの課題もあるが、解決に向けた市の介護施策の取り組みについて伺う。

問 骨太公園の活用、介護職員初任者研修の現状を問う。

答 健康寿命の助長と地域コミュニティの再形成を目的とし、骨太公園にて介護予防事業「もりも

り骨太教室」を開催し、刈敷田地区などの高齢者23人が、週2回の運動プログラムを実施した。

また、平成22年度から介護に携わる人材を育成するための介護職員初任者研修を実施しており、

これまで192名が受講を修了している。

問 介護施策の今後の取り組みについて。

答 「もりもり骨太教室」の運動を生かした体操DVDを作成する。また、介護職員初任者研修及び声かけ訪問サービスも鋭意取り組んでまいりたい。



無会派
高橋利宗議員

問 認知症対策の現状について問う。

答 市民が認知症や認知症予防に対する理解を深め、認知症の方への接し方を学ぶことを目的とした認知症サポーター養成講座を開催しており、受講者は延べ1,909名となっている。

また、認知症の方とその家族が交流し、情報交換するための認知症カフェを月1回、はまなす館で開設しており、延べ49名が参加している。

その他の質問

- ・子育て支援策